



第10回記念シンポジウム
外国語教育の未来^{あす}を拓く：
～持続可能な未来を創るための外国語教育～

◆**基調講演**◆

「魅力的な外国語教育とは —外国語を教えない外国語教育—」
當作 靖彦(カリフォルニア大学サンディエゴ校教授)

◆**特別企画**◆

「高校生・大学生の取り組み」
フランス語/中国語/スペイン語/多言語 等

◆**分科会**◆

研究発表 「複数言語教育の取り組み～持続可能な人財育成をめざして～」
分科会1：文部科学省「教員養成機関等と連携した外国語教育専門人材育成事業」の報告

分科会2：実践報告

日時：2022年3月13日（日）13：00～18：30

会場：オンライン（Zoom）

募集定員：300名

主催：一般社団法人日本外国語教育推進機構（JACTFL）

上智大学国際言語情報研究所（SOLIFIC）

後援：文部科学省、外務省、東京都教育委員会

08 実施概要

開催趣旨：記念シンポジウムの開催にあたって

2013（平成 24）年 3 月以来、「外国語教育の未来を拓く」をメインテーマに掲げて、日本外国語教育推進機構（JACTFL）と上智大学国際言語情報研究所（SOLIFIC）は、共同主催者として本シンポジウムを毎年開催してきました。今回のシンポジウムで、記念すべき第 10 回目の節目を迎えます。第 8 回シンポジウムはコロナ禍でやむなく中止しましたが、その困難を乗り越えて、昨年第 9 回シンポジウムをオンラインで実施しました。本来であれば、この記念シンポジウムを上智大学にて盛大に開催する予定でしたが、新型コロナウイルスのオミクロン株の感染拡大の可能性も予測されることなどから、昨年と同様にオンラインで実施することにいたしました。

本シンポジウムの趣旨は、初等・中等・高等教育機関、中央省庁・地方自治体、研究機関・公益財団法人など、国内外のさまざまな外国語教育の関係者が日本における複言語・多言語教育の未来を拓くための具体策を練り、それを実現するための契機となる機会を提供することです。今回は、「持続可能な未来を創るための外国語教育」をサブタイトルとして掲げ、SDGs への貢献等を意識した外国語教育について考える機会になることを期待しています。

これまで JACTFL は、日本の外国語教育施策に影響力を持つ公的機関等の関係者に具体的な提案を行い、粘り強く働きかけを行ってきました。近年の、文部科学省の外国語教育推進施策の進展にその効果が表れているのではないかと手応えを感じています。また、この恒例化したシンポジウムの参加を通じて、参加者自身が関わりを持つ特定の外国語教育関係者のみならず、多種多様な外国語教育関係者との横のつながりが生まれ、言語種を大きく超えたネットワークが活発に機能し始めています。

JACTFL は、次の、新たな 10 年を目指して、日本社会における多様な複数言語教育の繁栄と発展に一層貢献していきたいと考えています。

JACTFL 理事長 山崎 吉朗

08 実施体制

特別協力：一般財団法人日本私学教育研究所、公益財団法人国際文化フォーラム

後援：文部科学省、外務省、東京都教育委員会

参加者：小中高校・大学の外国語教育・国際理解教育・異文化間コミュニケーション等の教育関係者、教育行政機関関係者、学校の管理職ほか 200-250 名

参加費用：JACTFL 会員・一般/無料

🍷 プログラム

12:30～ Zoom 開室

【第1部】

◇13:00～13:15

開会・挨拶 山崎 吉朗 JACTFL 理事長/日本私学教育研究所
真保 洋 (文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 外国語教育推進室長)
司会進行: 黒澤 眞爾 (関東国際高等学校)

◇13:15～14:45

基調講演 當作 靖彦 (カリフォルニア大学サンディエゴ校教授)
「魅力的な外国語教育とは ー外国語を教えない外国語教育ー」
司会進行: 臼山 利信 (筑波大学)
講演者紹介: 山崎 吉朗 (JACTFL 理事長)

【第2部】

◇14:45～15:45

特別企画 高校生・大学生の取り組み
司会進行: 神谷 善弘 (大阪学院大学)
趣旨説明: 山崎 吉朗 (JACTFL 理事長)

- ◆発表1: 大妻中野中学校・高等学校 フランス語
「複言語学習でグローバルな人材を育成する!!」
高校3年 石橋 瑞葵
- ◆発表2: 神奈川県立藤沢総合高等学校 中国語・スペイン語
「藤沢総合高校で外国語を学んで」
スペイン語履修者、中国語履修者
- ◆発表3: 慶應義塾大学 多言語
「言語意識を高める教育 ー慶應義塾大学日吉キャンパスにおける試みー」
岩本 拓弥 (経済学部2年) 熊代 真幸 (法学部政治学科2年)
舘 恒太郎 (経済学部1年) 田宮 優華 (法学部法律学科1年)
刀根 亜星 (経済学部2年)

閉会・挨拶 山崎 吉朗 (JACTFL 理事長)

◇休憩 15:45～16:00

【第3部】

◇16:00～18:30

研究発表「複数言語教育の取り組み～持続可能な人財育成をめざして～」

**◆分科会 1 文部科学省委託「グローバル化に対応する外国語教育の推進」事業
－英語以外の外国語教育に取り組む高等学校の実践を中心に－**

Zoom URL: 第1部からのものをそのまま使用

司会進行：水口 景子（公益財団法人国際文化フォーラム）

- 16:00～ 大東文化大学（フランス語）
「『フランス語の学習指針』策定研究会の取り組み」
野澤 督（大東文化大学）
- 「アサンプション国際高等学校の実践（フランス語）」
菅沼 浩子（アサンプション国際高等学校）
- 16:30～ 立命館大学（ドイツ語）
「立命館大学の取り組み」
田原 憲和（立命館大学）
- 「大阪府立長野高等学校（ドイツ語）」
南谷 真紀（大阪府立長野高等学校）
- 17:00～ 慶應義塾大学（中国語・スペイン語・ドイツ語）
「慶應義塾大学の取り組み」
山下 一夫（慶應義塾大学）
- 「神奈川県立藤沢総合高等学校の実践（中国語、スペイン語）」
潮田 央（神奈川県立藤沢総合高等学校）
佐々木 亮太（神奈川県立藤沢総合高等学校）
- 17:30～ 「横浜市立みなと総合高等学校の実践（中国語、ドイツ語）」
温 悠（横浜市立みなと総合高等学校）
池谷 尚美（横浜市立みなと総合高等学校）
- 18:00～ 大阪大学（ロシア語）
「ポストコロナ時代を見据えた「社会に開かれた」ロシア語教育課程の再構築」
横井 幸子（大阪大学）
- 「北海道札幌国際情報高等学校の実践（ロシア語）」
依田 幸子（北海道札幌国際情報高等学校）

◆分科会 2 実践報告

司会進行：大森 洋子（明治学院大学）

- 16:00～ 「資質・能力の育成を目指した授業作り
—都立青梅総合高校「ハングル」3年間の事例—」
石黒 みのり（東京都立青梅総合高等学校）
- 16:30～ 「日中韓 5 大学連携による絵本読み聞かせプロジェクトのデザインと教師間の
協働」
澤邊 裕子（宮城学院女子大学）
中川 正臣（城西国際大学他）
植村 麻紀子（神田外語大学）
青森 剛（世明大学校）
劉 星（北京理工大学珠海学院）
- 17:00～ 「オンライン授業を受講した中級日本語学習者の意味づけと対処行動
—KJ法による分析—」
稲田 栄一（立命館アジア太平洋大学）
吉田 真宏（立命館アジア太平洋大学）
- 17:30～ 「モジュール型オンライン教科書の開発
—1年生向けドイツ語授業における試み—」
コンスタンティネスク チェザル（明治学院大学）